



令和4年3月14日
港区立青南幼稚園長 新山裕之

令和3年度 幼稚園関係者評価 概要

園長の経営計画を受け、教育課程を編成し、コロナ禍であっても全教職員が一丸となって実践を積み重ねてきました。今年度の取り組みについては、教職員も評議員、保護者と同様のアンケートを実施し、それも参考にしながら教員による自己評価を行いました。評議員会においていただいた意見やアンケート結果を含め、総合的に分析・考察し、改善の必要な点について明らかにし、次年度の教育課程の編成に生かしていきます。

.....

今年度は、新型コロナウイルス感染症と対峙しながらの園運営でした。保護者アンケートは「がくぷり」で実施し、回収率は96%でした。(昨年度の回収率が80%だったのは事務的なミスによるもので、1学級分のデータが抜けていたことが今回の作業中に判明しました。お詫びします)

全ての項目でA、Bを合わせると95%以上、A評価が90%を越えるものは4項目でした。評議員会での意見や評議員からのアンケートでも同様の評価をいただきました。園内では、行事ごとの反省の他に教職員も同様のアンケートと一年間の教育活動全般についての振り返る協議も実施した。それらの評価をまとめるとともに、次年度の方向性を示します。

<幼稚園運営について>

- ・9月初めに感染対策の意味を幼児自身が自分事として理解するための勉強会を開き、その後、自覚を促す指導を繰り返してきました。正しいマスクや手洗い、黙食などが定着し、安全・安心を第一にコロナ禍でも実施可能な取り組みを工夫して実践することができました。
- ・ホームページからの発信は、園内の自然と子どもたちの様子を絡めて伝えるブログと小さなコラムに加え、ひよこ組通信や園内研究の一環として担任からの自然に関わるコラムの発信も主体的に始まり、回を重ねて好評価を得ています。
- ・「がくぷり」の導入により、情報発信と共有が格段に便利になり、写真入りの学年だよりなどを数多く配信することができ、ペーパーレス化や働き方改革にも役立っています。
- ・自然を生かす取り組みや発信、様々な工夫と努力によって保育実践を進めていることに対して保護者や評議員から、感謝と労いの言葉が多く寄せられ、多くの保護者が安心して幼稚園に預けてくれている状況であり、大変有り難く、深く感謝しています。
- ・ひよこ組は、担当者が代わり遊具や内容を充実させ、ひよこ組通信をホームページに掲載しますなど発信も充実しました。しかし、感染拡大の影響で予定通りには開催できず、それを補うために未就園児向けの園庭開放を実施し、好評価を得ました。
- ・PTA活動は、感染状況に応じて臨機応変にできることを無理なく実施してくれました。PTA独自の活動も進みました。共催行事の実施方法や内容については感染状況に応じた対応が必要なため、計画の刷り合わせや保護者同士の連絡が思うようにならないことがありました。その改善策として、見通しや進捗状況の見える化を図るためのフォーマットを作成し、来年度の計画と実施に生かすようにしています。
- ・新年度年長組の役員候補や委員も内定し、コロナ禍でも可能な内容や方法を幼稚園とPTAとで一緒に考えていきます。子どもを真ん中にした園生活やPTA活動の充実を図っていきたいと思います。
- ・小中学校や地域の皆さんとの交流活動はコロナ禍で制限され、保護者、教職員ともにアンケート評価が最も低くなっています。それでも途切れることなく連携は取っており、今後はコロナ禍でもできる交流について、さらなる工夫が課題です。引き続きの連携とその発信が重要であると考えています。

<教育内容・指導について>

- ・今年度も子どもが遊びや生活に主体的に取り組むための環境構成や指導について工夫した結果、一人一人に物事に主体的に取り組む構えが育ってきていることは、大きく誇れることだと思っています。この点についてA評価が、遊びを大切にした教育についてが約90%、一人一人を大切にした指導が約86%と高くなっています。
- ・恵まれた園の自然環境を生かした保育や飼育栽培に関しては、今年度も保護者からのA評価が約96%と極めて高い評価を得ています。この点については、教師自身が子どもたちと共に工夫して実践することをおもしろがってできる構えが育っており、自然と関わる実践が充実すると同時に、伝承しつつあることもうれしく感じています。来年度は区の研究奨励園として、さらなる研究と実践の充実と発信を工夫していきます。
- ・行事で充実した姿や育ちを感じてくれているかという点では昨年に引き続き、Aが約94%と高い評価を得ています。これは、昨年度に引き続き、特に行事の内容や方法を吟味しながら、子どものペースを大事にした実践をしてきた成果であると言えます。
- ・基本的な生活習慣の自立については、引き続き課題であると感じています。つい大人が口や手を出してしまうことが、子どもの自立を妨げていることを家庭と園が共通認識して、対応していく必要があると思っています。ご理解とご協力をお願いします。

<安心・安全について>

- ・日頃の園庭の環境整備に関しては、土留めの丸太の修理、植栽の手入れや花壇の整備、さらに園庭の落ち葉を使った土工場づくりなど、子どもたちも自分たちが生活する場を大人と共に整えることができおり、それが遊びや生活を豊かなものにつなげており、昨年度に続いて経営方針が具現化している姿が見られています。そのため、Aが約85%と高い評価となっていることをうれしく思っています。
- ・大掛かりな環境整備については、築山やかえでの木の周囲、畑の土留めの丸太の全面取り換え工事と樹木剪定を春休み中に実施予定です。
- ・用務主事は、委託業者が代わりましたが、4月当初から固定したメンバーが様々な業務を確実にこなしてくれています。環境整備や道路での誘導や挨拶なども含め、丁寧な仕事ぶりが評価され、Aが約90%と高い評価であり、引き続き堅実な業務の遂行に期待しています。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策は、保育者の皆さんの協力により、手洗いの励行、マスクの着用、健康カードへの記録と提示、時差をつけての登園・降園が定着しており、大変感謝しています。引き続きよろしくをお願いします。

<青南ならではの地域性を生かした保育について>

- ・身近な自然を保育に生かしていく構えが教員の中で身に付いてきており、園内の自然環境の活用が進んでいます。地域の様々な方に支えてもらっていることで安心して生活できていること、充実した教育活動ができていることは、コロナ禍だからこそ実感しています。直接関わる機会は減ったとしても、青南の強みを生かした保育実践を引き続き工夫していきます。
- ・年末の反省では、日々の指導について「心・技・体」の観点で話し合いました。担任が子どもたちと遊びや生活を創り出すことができている状況は、陰になり日向になり多くの人たちが支えてくれていることに感謝し、その気持ちをしっかりと伝えることの大切さを確認しました。幼稚園教育はチームワークであることを一人一人が再確認して、日々の実践に取り組んでいるところです。
- ・私たちはよりよい保育を目指しますが、その目的は、日本の未来を担う子どもたちの健やかな成長であり、この地域はもちろん、広く日本の幼児教育全体の質の向上に貢献する心意気を内に秘めています。身近な自然との関わりをおもしろがり、子どもの姿をおもしろがり、そして保育という営みの魅力を感じ、おもしろがって実践できる教師でありたいと思っています。10月27日に研究奨励園としての発表をしますが、その日だけでなく、日々その思いを具現化し、発信していきたいと思っています。